

2021年1月10日 司祭 越山 哲也

八戸聖ルカ教会

顕現後第1主日・主イエス洗礼の日 説教

「すぐに天が裂けて」

〔旧約聖書〕 イザヤ書 42:1~9

〔使徒書〕 使徒言行録 10:34~38

〔福音書〕 マルコによる福音書 1:7~11

主の平和が皆さんと共にありますように。

大雪と緊急事態宣言の渦中にある中、皆さまそれぞれの生活と心がまもられますように。

教会暦は顕現節に入りました。顕現節はイエス様は何者であるのか、また何のためにこの世に来られたのかを基調とする期節です。

そして、顕現後第1主日は、主イエス様が洗礼を受けられたことを覚える主日でもあります。

「イエスはガリラヤのナザレから来て、ヨルダン川でヨハネから洗礼を受けられた。水の中から上がるとすぐ、天が裂けて“霊”が鳩のように御自分に降ってくるのをご覧になった。」(マルコ 1:9~10)

イエス様はヨハネから洗礼を受けられたのですが、「すぐ、天が裂けて」という箇所を心に留めたいと思います。「天が裂ける」とはどのようなことなのでしょうか。

これは神様の御意思がそこに顕れるということなのです。神様は望まれていることは何でしょうか。それは私たちが真の平和の生きることです。自分勝手、自己本位に生きるのではなく、愛の内に生きることです。そして破れてしまっていた神様と私たちの隔ての壁を神様は自ら御子イエス様をこの世に送ってそして修復しようとされているのです。「天が裂ける」とはまさにそのことを示しているのです。イエス様が十字架の死を遂げた時も、神殿の垂れ幕が真っ二つに裂けたのです。これも同じ意味があります。ここに神は愛なりといわれる大きな理由があるのです。

私たちではどうすることも出来ないこの隔ての壁を破るにはイエス様自らが洗礼を受ける必要があったのです。

父と子と聖霊に栄光がありますように。アーメン